

「中心市街地活性化基本計画」総理大臣認定について(概要) 令和8年3月内閣府

- 「中心市街地の活性化に関する法律」に基づき、中心市街地における都市機能の増進、経済活力の向上を推進
- 市町村が、商工会議所等で構成される協議会と連携し、基本計画を作成。国の認定を受けた計画に対し、関係府省庁が連携して重点的に支援

市町村
(計画作成)

申請

内閣総理大臣による計画認定 (内閣府)

中心市街地活性化基本計画
(計画期間は概ね5年以内)

認定

- 基本的な方針
- 位置及び区域
- 目標・定量的な目標指標
- 中心市街地活性化のための事業
 - (1) 市街地の整備改善
 - (2) 都市福祉施設の整備
 - (3) 街なか居住の推進
 - (4) 経済活力の向上
 - (5) 公共交通機関の利便性増進等
- 推進体制 など

支援

関係府省庁によるハード・ソフト事業支援

連携して
作成

地域の多様な
主体の参画

中心市街地活性化協議会

- ・ 商工会議所、商工会、まちづくり会社
- ・ 地域住民、大学、金融機関
- ・ 民間事業者、公共交通機関
- ・ 地域メディア、市町村 など

国土交通省

暮らし・にぎわい再生事業



＜出島メッセ長崎(長崎市)＞

都市機能のまちなか立地、空きビルの再生、多目的広場等の整備等を総合的に支援

経済産業省

大規模小売店舗立地法の特例



＜プレミアムショッピングタウン256(山形市)＞

新設又は変更の届出、説明会の開催、住民等の意見聴取、都道府県等の意見手続などを適用除外

総務省

中心市街地再活性化特別対策事業 中心市街地活性化ソフト事業



＜川西市コミュニティパーク整備事業(左)・大垣市中心市街地リフレッシュサポート事業(右)＞

中心市街地再活性化のために行うハード・ソフト事業を支援

内閣官房／内閣府

地域未来交付金事業



＜スタートアップ支援拠点の整備(左)・温泉施設等観光拠点の整備(右)＞

申請可能事業数の上限を2件を超える申請が可能
+採択において一定の考慮

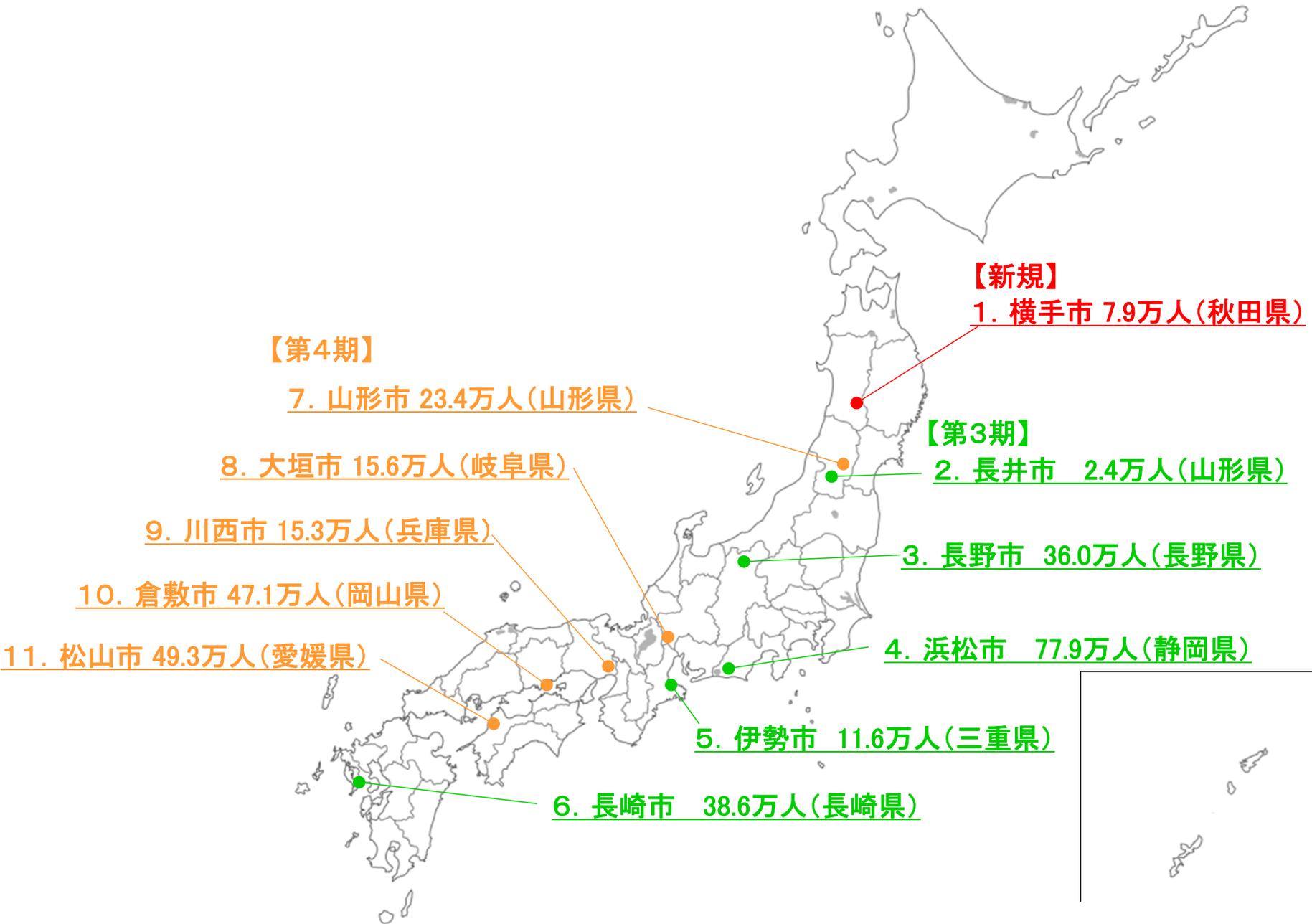
中心市街地活性化基本計画認定市町村一覧：157団体(令和8年4月時点)

令和8年4月時点で、157団体(累計307計画)が認定済(②、③、④は認定の回数)、計画期間中は51団体(52計画)。

黒字は計画期間終了の自治体。赤字は計画期間中の自治体。【令和7年度認定：11自治体】

北海道	函館市、小樽市、旭川市、帯広市③、北見市、岩見沢市②、稚内市、滝川市、砂川市、富良野市②	滋賀県	大津市②、長浜市②、草津市②、守山市②、東近江市②
		京都府	福知山市②
青森県	青森市②、弘前市②、八戸市④、黒石市、十和田市②、三沢市	大阪府	堺市、高槻市②、茨木市②
岩手県	盛岡市②、久慈市②、遠野市②	兵庫県	神戸市(新長田)、姫路市④、尼崎市、明石市②、伊丹市③、宝塚市、川西市④、丹波市②
宮城県	石巻市④		
秋田県	秋田市②、横手市、大仙市	奈良県	奈良市
山形県	山形市④、鶴岡市③、酒田市②、上山市②、長井市③、小国町	和歌山県	和歌山市、田辺市
福島県	福島市③、会津若松市、いわき市、白河市③、須賀川市②	鳥取県	鳥取市④、米子市②、倉吉市③
茨城県	水戸市②、土浦市③、石岡市、鹿嶋市	島根県	松江市④、江津市、雲南市
栃木県	日光市、大田原市	岡山県	倉敷市④、津山市、玉野市
群馬県	高崎市④	広島県	三原市②、府中市②
埼玉県	川越市②、蕨市、志木市、寄居町	山口県	下関市、宇部市②、山口市③、岩国市、周南市②
千葉県	千葉市、木更津市②、柏市②	徳島県	徳島市
東京都	八王子市②、青梅市、府中市	香川県	高松市④
神奈川県	小田原市、秦野市	愛媛県	松山市④、西条市
新潟県	新潟市、長岡市④、十日町市、上越市(高田)	高知県	高知市③、四万十市
富山県	富山市④、高岡市④	福岡県	北九州市(小倉)、北九州市(黒崎)、大牟田市、久留米市②、直方市、飯塚市
石川県	金沢市④	佐賀県	唐津市②、小城市、基山町
福井県	福井市②、敦賀市、大野市②、越前市②	長崎県	長崎市③、諫早市②、大村市
山梨県	甲府市②	熊本県	熊本市(熊本)④、熊本市(植木)、八代市、山鹿市、益城町
長野県	長野市③、上田市②、飯田市③、塩尻市	大分県	大分市④、別府市、佐伯市②、竹田市、豊後高田市②
岐阜県	岐阜市④、大垣市④、高山市②、中津川市②	宮崎県	宮崎市、日南市、小林市、日向市
静岡県	静岡市(静岡)③、静岡市(清水)③、浜松市③、沼津市、島田市、掛川市②、藤枝市④	鹿児島県	鹿児島市③、奄美市
愛知県	名古屋市、豊橋市②、豊田市④、安城市、東海市、田原市	沖縄県	沖縄市③、宮古島市
三重県	伊勢市③、伊賀市②		

令和7年度中心市街地活性化基本計画の認定団体(11自治体)



※期数順(同じ期数の場合は市町村コード順)

第49次 認定計画概要

[計画で自治体を実施する事業数(うち国の支援を受ける事業数)]

1. 横手市【新規】 [64事業(うち国支援18事業)]

- 横手駅中心の拠点性・回遊性の向上と冬季の暮らしやすい居住環境整備が課題
- 住んでよし 訪れてよし 四季を通じて多様な交流が生まれる よこてのまちなか

主な目標	目標指標	基準値(R6)	目標値(R12)
中心市街地での人々の活動の活性化	公共施設利用者数	496,584人/年	700,000人/年

【その他の目標指標】 居住人口の社会増減/新規事業所・店舗数

- 市街地再開発により、横手駅東口駅前に店舗、賃貸・分譲集合住宅、立体駐車場を整備 [社会資本整備総合交付金(国交省)]
- 横手駅東口駅前にある生涯学習館「Ao-na」を拠点に、市民の学びや活動を支援するイベントを実施 [中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]



生涯学習館「Ao-na」でのイベント(クリスマスミニコンサート)

2. 長井市 [63事業(うち国支援51事業)] (第3期)

- 集客施設から中心市街地へ新たな人の流れを作ることが課題
- 「未来」を「つくる」
～新たな人の流れと交流による賑わいの創出と持続可能なまち～

主な目標	目標指標	基準値(R5~7平均)	目標値(R12)
まちなか回遊機能の向上	歩行者・自転車等通行量	4,773人/日	5,756人/日

【その他の主な目標指標】 市内4施設の利用者数/空き地・空き店舗解消数

- 最上川沿いにスケートボードやドッグランなどができる公園を整備し、隣接する道の駅と連携したイベントを実施 [都市構造再編集中支援事業(国交省)]等
- 区域内観光の情報発信やガイド付きまち歩きツアーなどの旅行商品を提供することでまちなかへの回遊を促進 [地域未来交付金(内閣官房・内閣府)]



ツアーガイドによるまち歩き

3. 長野市 [51事業(うち国支援30事業)] (第3期)

- 善光寺来訪者のエリア全体への回遊促進が課題
- 歴史を紡ぎ 未来を創造するまち『門前都市 ながの』

主な目標	目標指標	基準値(R6)	目標値(R12)
歩きたくなるまち	歩行者・自転車通行量	133,400人/日	137,000人/日

【その他の主な目標指標】中心市街地の人口/公共公益施設利用者数/中心市街地内のホテルの宿泊者数/善光寺表参道及び権堂アーケード沿い1階部分の空き店舗数

- 善光寺表参道の歩行者優先道路化やレンタサイクルの活用、善光寺から駅周辺にかけたイベント実施によるまちなか回遊の促進 [社会資本整備総合交付金(国交省)]等
- 遊休不動産の活用促進やリノベーションで生まれた店舗の認知度向上を図るための情報発信を実施 [中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]



善光寺表参道イルミネーション

4. 浜松市 [87事業(うち国支援 55事業)] (第3期)

- “グローバルクリエイティブシティ”をめざすまちの価値継承・発展と新たな魅力の創造が課題
- 歴史、文化、未来に触れ、豊かさを実感する世界水準のまち

主な目標	目標指標	基準値(R6)	目標値(R12)
民間投資の促進によるエリア価値向上 滞在空間の快適性の向上	低未利用地面積	21,980㎡	17,223㎡

【その他の目標指標】 公共施設利用者数/新規出店数/まちなか公共空間利活用数

- The GATE HAMAMATSU跡地を再整備し、中心市街地の都市機能に必要な憩いの場を整備 [中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)]
- 音楽文化や歴史資源(徳川家康、井伊直虎)等の地域資源を活かしたイベント事業を展開し、新たな魅力を創出 [中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]



ハママツ・ジャズ・ウィーク

第49次 認定計画概要

[計画で自治体が実施する事業数(うち国の支援を受ける事業数)]

5. 伊勢市 [47事業(うち国支援32事業)] (第3期)

●令和15年の第63回神宮式年遷宮に向け、歴史と文化を活かした、まちなか及び商店街等のにぎわい・回遊性の創出が課題

→働きやすく、暮らしやすい、歴史と文化を感じる伊勢のまち

主な目標	目標指標	基準値(R6)	目標値(R12)
まちなか回遊性の向上	歩行者通行量	5,705人/日	8,186人/日

【その他の目標指標】 区域内・4商店街の店舗等の増減数/居住人口の社会増減数/宿泊者数

➢外宮参道、各商店街等において、道路脇の滞在空間の整備や公園再整備等のウォークラブルな空間づくりにより、居心地がよく歩きたくなるまちなかを創出
[社会資本整備総合交付金(国交省)]



まちなかウォークラブル社会実験

➢創業や事業所の移転に必要となる経費の一部を補助することで、新規出店を促進

[中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]

6. 長崎市 [56事業(うち国支援37事業)] (第3期)

●長崎駅前集客施設整備により生まれた賑わいを中心市街地全体へ波及させることが課題

→歴史・文化に新たなまちの基盤を重ね、多様な魅力と新たな価値に出会えるまち ながさき

主な目標	目標指標	基準値(R6)	目標値(R12)
快適な回遊環境	来訪者回遊率	24.2%	26.4%

【その他の主な目標指標】 60分以上滞在率/法人の開設件数

➢市庁舎周辺道路をはじめとした、駅周辺とまちなかとの動線の整備により、回遊環境を向上する。
[都市構造再編集中支援事業(国交省)]



商店街でのパブリックビューイング

➢歴史的建造物を活用したまち歩きプログラムや産官学が連携したイベントの実施により、まちなかへの回遊を促進。

[中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]

7. 山形市 [66事業(うち国支援47事業)] (第4期)

●身体性・偶発性・希少性※などの魅力を街なかに創出し、来街者の立ち寄り箇所や滞在時間を伸ばすことが課題

→歩くほど幸せになるまち

※ 身体性：実際に五感で体感できること
偶発性：そこでしかできない体験
希少性：思いがけない発見や体験

主な目標	目標指標	基準値(R6)	目標値(R12)
賑わいの創出	歩行者通行量	25,084人/日	26,875人/日

【その他の目標指標】 商店街エリアにおける新規出店数/居住人口

➢文化創造都市推進に向けて、市民の文化芸術活動の新たな拠点となる市民会館を整備
[社会資本整備総合交付金(暮らし・にぎわい再生事業)(国交省)]等



新たな市民会館と周辺のイメージ

➢山形市の景観の特徴であり、世界かんがい施設遺産に登録されている御殿堰を昔ながらの水路に復元するとともに、小径と広場を整備し居心地のよい親水空間を創出
[都市構造再編集中支援事業(国交省)]

8. 大垣市 [63事業(うち国支援37事業)] (第4期)

●水都大垣の魅力を活かした子育て世帯や若年世帯等の移住、定住促進が課題

→選ばれるまち大垣へ、湧くわく 潤いと活気あふれるまちづくり
～市民一人ひとりが夢を持ち 希望を語り 住んでよかったと思えるまちを目指して～

主な目標	目標指標	基準値(R2~R6)	目標値(R8~R12)
まちなか居住の推進	社会増減数	+48人/年平均	+80人/年平均

【その他の主な目標指標】 休日歩行者・自転車通行量/商店街の空き店舗数

➢大垣駅南前地区での再開発により、新たな居住空間を創出するなど、子育て世帯や若年世帯の定住を促進

[社会資本整備総合交付金(国交省)]

➢三大まつりを活用した都市プロモーション事業により「水都大垣」の魅力を地域内外へ広く発信し移住を促進
[中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]



水都まつり

第49次 認定計画概要

[計画で自治体を実施する事業数(うち国の支援を受ける事業数)]

9. 川西市 [55事業(うち国支援19事業)] (第4期)

●子育て世帯が集える空間づくりとゾーニングしたエリアごとのにぎわい創出が課題

→こどもがつどい にぎわい奏でるまち ~みんなの笑顔がめぐる 人と人がつながる場所~

主な目標	目標指標	基準値(R7)	目標値(R12)
こどもが育ち、にぎわい息づくまちなか空間を創出する	歩行者・自転車通行量	60,816人/日	69,260人/日

【その他の主な目標指標】 居住人口の社会増減/まちなか交流拠点マチノマ利用者数/新規開業者数

➢未利用公有地を活用し、民間事業者と連携して商業施設内に子育て世帯が交流できる場を整備

[中心市街地再活性化特別対策事業(総務省)]等

➢駅前ペDESTリアンデッキや街なかのポケットパークなどのパブリックスペースを活用し、多世代が交流できるイベントを開催することでにぎわいを創出

[中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]



駅前ピクニックマルシェ

10. 倉敷市 [66事業(うち国支援31事業)] (第4期)

●倉敷美観地区や倉敷駅周辺商業施設にとどまらない中心市街地全体のにぎわい創出及び歴史的・文化的町並みを活かした回遊性の向上が課題

→世界に誇る伝統文化 居心地のよいまち 暮らしき

主な目標	目標指標	基準値(R2~R6累計)	目標値(R8~R12累計)
歴史的・伝統的資源を活用したまちの魅力向上	町家・古民家再生活用件数	22件	32件

【その他の目標指標】 居住人口/歩行者・自転車通行量/来訪者の回遊率

➢旧街道沿いにおける町家・古民家などのファサード整備を支援し、町並みの連続性の確保や景観向上を推進

[都市構造再編集支援事業(国交省)]

➢市民・学生が行うフィールドワークの支援やセミナーの開催などにより、歴史的な町並み等の地域資源を学ぶことができる場づくりを進める

[中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]



整備を終えた旧街道沿いの町並み

11. 松山市 [80事業(うち国支援48事業)] (第4期)

●商店街を核とした中心市街地全体のにぎわい再生と国内外の観光ニーズへの対応やインバウンドの獲得等による誘客が課題

→ヒト・モノ・コトがつながる、便利で快適な行きたい・住みたいまち

目標	目標指標	基準値(R6)	目標値(R12)
様々な人々を惹きつける商業と観光コンテンツの充実によるにぎわいの創出	中央商店街の空き店舗率	21.0%	16.7%

【その他の目標指標】 観光施設利用者数/市全体に占める中心市街地の人口割合/1日当たりの公共交通利用者数

➢商店街の空き店舗へ出店する事業者を支援するほか、空き店舗を活用した交流サロン等の開催により、にぎわいを創出

[中心市街地活性化ソフト事業(総務省)]

➢道後温泉エリアで展開されているアート事業や関連施設等を活用した事業展開により、観光客数の増加及び観光消費の拡大を推進

[地域未来交付金(内閣官房・内閣府)]



中央商店街